

# 橋守支援センターの取り組み

南海電気鉄道株式会社 小出 泰弘

## 1. 安価で確実な鋼橋の長寿命化対策で なぜ自治体支援について議論・研究を？

- ✓ やりくりをおこなうためには、「損傷・劣化診断」⇒「保有性能診断」
- ✓ そのためには、インハウスエンジニアの的確な判断と専門家の意見が必要
- ✓ インハウスエンジニア育成のための手法、専門家の活動の方法について事例研究を行った

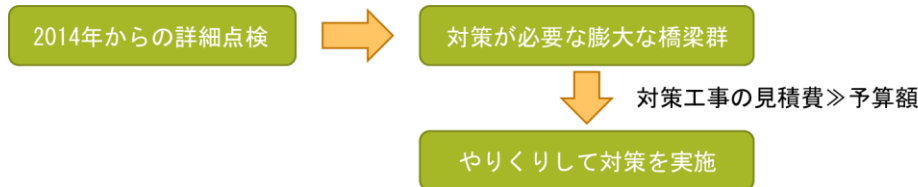


図 橋梁群の抱える課題

## 2. 講演会&パネルディスカッションを開催（2021年7月）

当日の講演内容とご登壇者は以下の通り

- 道守養成講座と長崎の維持管理の現状について（長崎大学 高橋 和雄 先生）
- 橋守支援センター静岡の活動について（東京大学 長山 智則 先生）

## 3. 道守養成講座

- ✓ 長崎大学工学部は、平成19年1月に長崎県をはじめ県内市町や地元企業との連携による共同研究・事業の推進を目的として「インフラ長寿命化センター」を設立し、「道守」養成のための教育プログラムを開始
- ✓ 文部科学省の科学技術戦略推進費《地域再生人材創出拠点の形成》に「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」（平成20年度～24年度）として採択され開催
- ✓ 「道守」、「特定道守」、「道守補」は大学・地方団体で一番初めに国交省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格規程（平成26年国土交通省告示第1107号）」に基づき技術者資格として登録（2015/1/26）

## 4. 橋守支援センターの活動

### ● 活動目的

地域において橋の番人としての「橋守」の精神を持った人材と企業を教育・訓練するとともに、その技量と経験に応じてその技量の認定と、新しい技術を第三者の立場で確認、評価及び認定し、かつ、実務に導入を図るための標準化をはかることで、低コストで信頼できる人材と技術を社会基盤である公共構造物の維持管理に導入する仕組みを作ることを活動の目的とする。（定款より）

### ● 設立年月

2001年（平成13年）

### ● 活動内容

- ・維持管理に係る人材の育成（道守補研修）
- ・会員相互の技術交流（技術研鑽会、橋守塾）
- ・技術開発の支援・サポート（橋梁用掃除機の開発、TRS（ワンサイドボルト））
- ・自治体の相談窓口

## 5. まとめ

安価で確実な鋼橋の長寿命化対策」にはインフラを管理するインハウスエンジニアの技術力向上が不可欠



そのためには、人材育成（公的教育）とセカンドオピニオン（第三者意見）による判断能力の向上が必要



取り組み事例として長崎大学の「道守」養成講座と非営利活動法人橋守支援センターの取り組みを紹介